

株式会社片桐紙器 紋別段ボール工場

生産ラインの更新と多能工化で就業環境を改善



[企業情報]

所在地	紋別市元紋別 678 番地 19
従業員数	16 名(令和 8 年 2 月 21 日現在) (男性 11 名、女性 5 名) (うち正社員 11 名、パート 5 名)
業種(業務内容)	段ボール箱・紙器箱製造業
ホームページ	https://lat994.co.jp/katagiri/

ポイント

- 徹底的な機械化で生産性が大幅にアップ
- 有給休暇の取得促進のため多能工化を積極的に推進
- 健康経営と独自の 7S 運動

取組の背景

農水産物出荷の最盛期である 8 月から 10 月にかけては段ボール生産が集中し、交代制をとりながらも深夜に及ぶ勤務が常態化。残業も長時間化し、人材確保と社員の処遇改善が課題となっていたことから、生産性向上と就業環境改善に向けた取組を進めた。



具体的な取組内容と効果

- 徹底した機械化で生産性が大幅にアップ
徹底的な機械化により、繁忙期の時間外労働がほぼゼロとなるまで改善。生産性の向上と時間外手当の減少により、適正な利益確保が実現し、その利益を原資とした社員の賃金アップにより定着率が上昇するという好循環を生んだ。
- 有給休暇取得促進のため多能工化を推進
定期的な配置変更と異なるラインへの配置転換で多能工を育成し、補完体制をつくることで休暇取得しやすい環境を整備。また、年間スケジュールを作成して有給休暇取得を奨励。さらに、多様な働き方として、希望者には短時間勤務を認めている。働きやすく楽しい職場をつくる取組を進めてきた結果、社員の定着率が上がり、技能の承継も円滑に進むようになった。
- 業務量に応じた就業時間を設定
就業時間は、終業時間を各月で 10 分ずつ調整した変形労働時間を採用して、繁忙期の 8～11 月は午前 8 時 30 分から午後 5 時 40 分まで、閑散期の 1～3 月は午前 8 時 30 分から午後 4 時までとして、年間で 118 日の休みを確保。一連の働き方改革が社員の時間外労働削減とモチベーションアップにつながり、生産性も向上している。



●健康経営と独自の7S運動

経済産業省、日本健康会議の「健康経営優良法人」の認定を令和元年に受け、現在は中小規模法人部門19,796法人の上位500法人である「健康経営優良法人2025 ブライト500」となった。

さらに、整理、整頓、清掃、清潔、躰の「5S」に、生産性、安全（セーフティ）を独自に加えた「7S」により、就労環境の安全確保に取り組んでいる。



今後の展開

●よりきめ細かい顧客ニーズへの対応を

設備更新が職場のイメージをアップさせ、人材確保に効果を上げた。働きやすい職場で明るく楽しく働いてもらうことで、職場定着の促進と人材確保、及び、きめ細かい顧客ニーズへの対応を実現し続ける。

オホーツク
グループ